

1月20日（水）本年度第26回（通算 第2807回）

## 「 会 員 卓 話 」

担当/プログラム委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

### ◆お客様と来訪ロータリアン

### ◆メーカーシップ

### ◆出席報告【会員総数 73 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 73 名】

本日の出席率	出席者 35 名	メーカーシップ 0 名	出席率 47.9%
前々回の修正出席率	出席者 50 名	メーカーシップ 3 名	出席率 61.6%

### ◆ニコニコ献金（今年度累計 361,000円）

- ・大雪の中ご参加ありがとうございます。  
松原パスト会長、本日の例会宜しくお願い致します ～佐渡 正幸君
- ・本日の例会宜しく申し上げます ～中島谷 友一朗君
- ・松原パスト会長宜しくお願い致します ～大友 淳君
- ・皆様、除雪お疲れ様です ～大澤 恵介君
- ・本年も宜しくお願い致します ～村井 順一君

### ◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さんこんにちは、本日も大雪の中、例会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。

私も長い事釧路に住んでおりますが、一度にこんなに降るのは記憶にない事でございます。今年は雪が少ないと思っておりましたら、まさに1年分雪が降ったと感じております。本当に除雪関係のご商売の方においては、非常にご苦労されていると思いますが、また先程の安田会員からのお話の中にもありました通り、交通には十分お気を付けて運転して頂きたいと思っております。特に交差点は雪が高く積みあがって、見え難い状況になっております。歩いているときも、そして運転しているときも小さいお子さんが飛び出してくる可能性がありますので十分にお気を付けてください。今月1月は、昨年と月間が変わりまして「職業奉仕月間」となっております。例会のプログラムに関しましてはご案内の通り2月3日に講演会を行うと言う事で、その部分のプログラムを担当させて頂きませんが、ここ最近のニュースの中で「どうしたんだろ」と言う話がいくつかあったと感じております。先ずは、スキーのバスツアーの事故の件でございます。本当に正にロータリアンとしての職業倫理・職業奉仕と言う部分を十分に考えなければならない時代になって来たのだと思います。そしてもう一つは、廃棄物のカツが色々な業種を経てスーパーで売られていたと言う問題でございます。自分の会社や企業だけが儲ければ良いと言う様な考えの下、今日本の社会と言う物が見えない所で進んでいると、考えさせられる事件だと思います。我々

ロータリアンとしては、職業を通して社会に奉仕する。まさに職業を通して皆様の為になる事を率先してしなければならないという部分においては、真逆の事がこの世の中で今行われているのだと思いますので、我々としても、一つの戒めとして、そして2月3日の職業講演会においては、その部分を踏まえて、皆様と一緒に、そして第7分区の方も出席されますので、分区を上げて勉強をして行きたいと思っております。今日はプログラム委員会大友委員長の下、松原パスト会長にご講演を頂くと言う事になっております。若い会員も増えてきましたので、今までの北ロータリークラブの歴史、ロータリーと言うのはどう言う物かと言う部分を、是非ともお話をゆっくりと聞きたいと思っておりますので、どうぞ1日よろしく願いいたします。

#### ◆ 幹事報告

##### 《中島谷幹事》



回覧としてナシ

報告として（口頭）3点

- ・本日の理事会にて新会員が2名承認されています。今週中に新会員推薦書を郵送しますのでご確認ください。到着後7日間に異議のない場合は2月3日の例会時に入会式を執り行います。
- ・先日、2月3日（水）に開催します「職業奉仕講演会」の案内をFAXしています。出欠返信期日は25日（月）となっています。  
本年はR I 第2510地区、2005～06年度ガバナー、札幌東RC塚原房樹PDGを講師にお招きし開催します。また、7分区会員にも案内をしています、本年は例会からの参加となります。
- ・次週1月27日（水）は「クラブ協議会」となっております。出欠返信期日は25日（月）となっています。多くの会員の出席をお願いします。

## 「 会 員 卓 話 」

プログラム委員会 大友委員長



皆さんこんにちは、プログラム委員会の委員でございます。

本日は会員卓話と言う事で、テーマといたしまして「釧路北ロータリークラブを学ぼう」と言う事で、今日は第1回目と言う事で、4回目まで予定をしております。内容につきましては、佐渡会長の挨拶でご紹介頂きました。我がクラブも間もなく創立60周年を迎えようとしております。この長い歴史の中で、色々変革もあったと思います。その中でクラブの歴史を育んできたのだと思います。変革と言うのは新しいものに移ると言う意味もあります。新しいものがあると言う事は、その前に古いものもあると言う事で、我々もそう言う伝統を

受け継いでいく中でも、古い事も知っておく必要が有るのではないかと思います。今までも、諸先輩から色々ご指導を受けて来た経験も私にはございます。最近はそのような話の機会も無くなっておりまして、今一度皆さんとクラブの伝統・慣習を共有するために、「釧路北ロータリークラブを学ぼう」というテーマにさせて頂きました。今日は第1回目といたしまして、1998年から1999年の第41代松原パスト会長にご講話をお願いしております。私も含め若い者にご教示願えればと思います。それではよろしくお願いたします。

## 第41代松原パスト会長



皆さんこんにちは、暫くぶりに皆さんの前で話をするものですから、少し上がり気味で、先ほどご紹介にありましたが、年男84歳になり、多少お聞き苦しい点がございましたら、この年齢と、ロータリーの友情に免じてご了承ください。

ロータリーが創設され、昨年で110年になりました。早い物です、100周年で大きなイベントが有り、ロータリーもとうとう100年になったかと思っていましたら、あれから10年が経ちました。私が84歳になるのも不思議ではありませんね、先日大友委員長から北ロータリーについて話をしてくださいと言う要望が有り色々調べてきました。

1958年5月28日に当時の北陸銀行釧路支店にて設立総会を行い、特別代表に嵯峨 晃氏（釧路ロータリークラブ）が選出され、1958年8月18日に RI より認証状が届き、その日が創立記念日です。

チャーターメンバーは釧路ロータリークラブより7名の方が移籍され、新人の方が16名、総勢23名でスタートいたしました。

例会場は北陸銀行釧路支店でスタートし、その後オリエンタルホテルに例会場が移り、その後ホテルレイトン釧路に移り1993年6月まで例会を行っていました。その後オリエンタルホテルのあったこの場所に釧路プリンスホテル建設され、再びこの場所に例会場が移ってきました。

ロータリーの拡大として、当クラブが親クラブとなり新しいクラブが3つ、そして北ローターアクトクラブを含め4つが出来ました。実は、インターアクトクラブもありました、釧路第一高校がそうでしたが、廃校になり、その後インターアクトと違いますが、星園高校で就職指導説明会を行っていましたが、ここも廃校になり今度は商業高校に移り現在に至っております。その様な、布教活動も一生懸命に取り組んできたクラブであります。

最初の親クラブとして新しいクラブが出来たのは、浜中ロータリークラブであります。特別代表は橋本雄介氏が選出され、浜中ロータリークラブが設立されました。このクラブには、有名な道下俊一さんがおられました。非常に熱血漢でロータリーの事になると熱弁を振るう方で、非常に情熱的でロータリーの為に長い間ご尽力された方です。次には、釧路西ロータリークラブで特別代表は曾宇昇進氏で開設し

ており、1971年北ローターアクトクラブが開設され現在に至っております。その次に釧路ベイロータリークラブが、坂本パストガバナーの時に開設いたし、特別代表は村井力氏が務められました。その当時はチャーターナイトの実行委員長を一人で務めました。この様に、このクラブは非常にロータリーに対して貢献の大きいクラブです。RIの役員もガバナーが3人出ており、両角克治さんがガバナーの当時は全道が一地区で350地区のガバナーでございました。その次に坂本一先生がガバナー務め、その次に足立さんが務めたと言う、釧路のロータリークラブの中でも非常にロータリー活動が活発なクラブと言う事で、各クラブから認められているクラブです。その他には、分区代理ですが、これも地区役員で、その当時は曾宇さんが2年続けて分区代理を務めていました。今はそういう事はないのですが、その後に姥沢先生と坂本一先生、前野正さん、阿部昌雄さん、大月健司さん、そして私が務めました。ここまでが、分区代理で、その後ガバナー補佐と言う事になりまして、金森元秀先生、松田信明さん、北川健二さんと、3人のガバナー補佐が出ております。今、ガバナー補佐を輩出できるクラブが4クラブ位なので、2年後に当クラブにも輩出の機会が有りますので、その時はこの中からガバナー補佐が出ると言う事になりますので、その節にはよろしくお願ひしたいと思います。

私の入会したときは、亡くなられた足立昇先生が同期で、その時のオリエンテーションが当時公認会計士の坂野洋二さんで、「オリエンテーションをやるので、9時に坂野さんの所に行ってくれ」と言われて、そこへ伺いました。9時から12時までの3時間、ロータリーのノウハウを聞かされました。とにかく、一番大事なのは、「休まないで例会には必ず出なさい」と何度も言われました。それを私は忠実に守ってきました。もう間もなく30年になりますが、1回も休んだことが有りません。休めば必ずメーキャップに行きます。そういう事を思うと、やはりオリエンテーションと言うのは、非常に大事なのだと思いました。私はロータリーに入りたくて、入ったのでは無く、その時湖陵高校の改築があり、長内先生が同窓会の会長で私が後援会長だったものですから、改築を早期にとお願ひに横道知事の所へ汽車で行きました。その道中に色々な話をしている中で、「ロータリーに入らないか」と誘われ、ロータリーって何?と聞くと、「色々面白い話を聞けるし、勉強になるから入りなさい」と言う様な話をしておりました。その時に入会した訳では無いのですが、ある日突然に電話が有り「坂野先生の所にオリエンテーションが有るから行ってくれ」と言われ、入会を決めた訳では無いのに、入会させられていました。その時に入会し、「10年したら辞めるぞ」と言い、いざ10年が経ち辞めようと思ったら、田村さんと、当時の会長でした松田さんが、私の所に来て変な方程式を持ち出し、「辞められないぞ」と言う話になり、「会長をやりなさい」と言って会長をやらされました。それが丁度40周年の時で記念事業もやりました。その時ローターアクトの地区大会もあり、各クラブに応援をお願ひしてくれと言われ、お願ひの為に他のクラブの例会に行き、終わればお礼に例会に行き、その年は例会に105回出席し、約2年分の出席数でしたが、それで色々学びました。

私が釧路北ロータリークラブに入って一番良かったのは、入会当時は市内の経済界の大物と言われる方々が沢山いらっしやいまして、卓話を前の日ではなく、当日にお願ひしてもスーッと出て行き、それも大変良い話を簡単に30分位話していました。それを聞いていて、本当に北クラブに入って良かったと感じておりました。こう言う事は皆さも考えて頂きたいと思います。私は前から言っていました、ロータリークラブは「人造り」だと思います。人格を形成し、例会で色々な事を学び、その学んだ知識を持って自分の職業を通し社会に貢献する、これがロータリーで言う職業奉仕と言う事になる訳です。ここに本を持ってきました、ガイ・ガンディカー著の「ロータリー通解」と言うロータリーのバイブルと言われる本です。この本には、そういう事が書いてある訳です。こういう本は皆さんどんどん読んで欲しいと思います。この中の事を少し読みますが、「ロータリークラブの会員を真のロータリアンに改善する事」と書いています。また、「ロータリーは上辺だけの人間を作るものではなく、人間の体質改

善を行う物である」と言う事も、ガイ・ガンディカー氏は言っておられます。このガイ・ガンディカーと言う方は、関東大震災の際に日本に莫大な義援金を贈る事を即決で決めた会長です。この「ロータリー通解」と言う本は、今はあまり読まれていませんが、昔はロータリーのバイブルと言われ初期のロータリアンの方たちは殆どの方が読んでいたらしいです。それを読み、人格を形成し、そして社会に奉仕活動をしておりました。ロータリーのテーマは「親睦と奉仕」です。その奉仕も親睦も、人間形成をきちっと行って奉仕を行う人を育て、育った奉仕を行う人が集まって全体として奉仕活動をする。元々ロータリークラブは、個人奉仕が原則ですがその個人奉仕で人格形成が出来た人たちが集まって、一つのクラブが出来ています。そしてクラブを単位として団体奉仕も行うと言う、そこまで来るまでにかかなりの論争が生まれました。ロータリークラブと対比される、ライオンズクラブが有りますが、ロータリークラブは個人奉仕と個人の集合体の組織としての奉仕活動も実践する。ライオンズクラブは一つの大きな社会事業を団体の名において奉仕活動を実践する。そこが、ロータリークラブとライオンズクラブの違いです。行う事は同じですが、内容が違うと思います。ただ、どちらが良いとか、どちらが悪いとかと言う事にはならないと私は思っております。人格形成をし、それで社会に奉仕をする、これも立派な社会奉仕活動だと思いますし、沢山の資金を集めて大きな奉仕をする。これも奉仕活動としては立派であると思います。そういう意味で、人格形成の場としてのロータリーであれば、やはり例会を充実して皆さんに大きな人間に成って頂いて奉仕活動を行って頂く、これがやはり、ロータリーの本質ではないかと思えます。当時のメンバーを観ますと、チャーターメンバーだった方のご息子が当クラブにも沢山入会しています。やはりそういう奉仕と言う物が、親から子、子から孫へと伝わって奉仕活動の輪を広げて行くことが非常に大事だと思います。

ロータリーの奉仕としては色々な形が有ると思えます。やはりライオンズと対比される様に、奉仕活動も行うが、人作り、人間形成に重点を置いて行う事が、ロータリーとして一番大事であるし、他の奉仕団体には無い特徴であると思えます。ポリオ撲滅の活動では、自費で発展途上の国へ行き、リュックサックを背負い歩いて未開の地まで行くと言う、そういう奉仕活動を行っている人が沢山いらっしやると聞いております。これも、ロータリーが生んだ奉仕活動の一番の特色ではないかと思えます。どんな小さな事でも他人の為に尽すと言う姿勢、そういう姿勢が社会にとって、はなくてはならない大事なことでないかと思えます。

個人個人皆が奉仕と言う物に対して正しい理解をして、それを実践すると言う事は非常に大切だと思います。

是非皆さんも機会が有ればそういう奉仕活動を行って頂きたいと思えます。

もっと沢山お話ししたいことが有りましたが時間となりましたのでこれで終わります。

ご清聴ありがとうございました。

